



コロナ禍の地区社明キャラバン隊(浪岡庁舎前)

地区事務局員・青森地区更生保護サポートセンターの企画調整保護司一行の社明運動キャラバン隊が、浪岡庁舎前で5分会の皆さんと記念撮影

【撮影】 令和2年10月3日 青森地区保護司会（広報部）

発行：青森地区保護司会
編集：広報部
青森市長島1丁目3-28
青森県更生保護会館
更生保護施設プラザあすなる
青森地区更生保護サポートセンター内
TEL 017-763-0763

毎朝7時半に宿舎を出て、森林公園博物館前、青森駅西口大通を進み、あすなる橋を渡り、ニコニコ通り、青森公園横、税務署の駐車場から入り、そして保護観察所に約3400歩で到着する私の生活が7か月過ぎた。この間、春は桜が微笑み、夏は真正面の太陽が熱く、秋はいちじうが眩しく、幾度もなく私の出勤を邪魔した。そんななかニコニコ通りのお店の人たちが開店準備にいつも忙しそうである。ゆっくりとした動きではあるが早い口調でのあいさつやおしゃべりが聞こえ、なぜかきびきびして見える。あいさつ以外は聞き取れないけど、朝からニコニコ楽しそうであり、なんかうれしくなる。最近はリンゴの香りがさらに気分を良くしてくれる。この毎朝の光景に励まされる。札幌での桜も暑さも紅葉も短く感じるが、青森ではゆっくり感じら



青森保護観察所
所長
木村 敏章

青森市の印象と未来の保護司の役割

れる。朝から元気な街、青森市、いつもの夏はねぶたでもっともっと熱いのだろう。来年は、きつときつと熱く楽しめるはず。

さて、未来の保護司の役割というお題をいただきましたが、いろいろ考えてみましたが、やはり、保護司の役割は不変です。今日も明日も、そこに保護司がいるから、いつでも、どこでも、そこで保護観察や生活環境調整が開始できること、それが地域の安全・安心につながっています。

ただ、未来の保護司活動の方法は変わると思います。令和3年度予算概算要求の保護司関係では、保護司のICTを活用した活動の促進として、「新たな日常」下における保護司の負担軽減や保護司活動の充実強化の観点から、保護司活動にICT(情報通信技術)を導入・活用するための必要な経費を要求しています。具体的な内容は、定例研修等で説明したいと思います。

これから寒さが厳しくなり、そしてコロナ禍の状況も続きそうですので、くれぐれもご自愛いただきますようお願い申し上げます。

保護司適任者確保 緊急対策チーム発足

全国の保護司数の急激な減少により保護司制度の持続可能性が危機に瀕している状況を踏まえ、保護司の適任者確保に取り組みため、全国保護司連盟と法務省保護局が共同により「保護司の適任者確保のための緊急行動宣言」を発し、更に、「保護司の適任者確保のための緊急対策本部」を設置した。

青森県内においても年々保護司数は減少を続け、令和2年6月1日現在の保護司数は、定員630名に対し551名となっており、令和7年度末までには150名の保護司が年齢上限に伴う任期満了により退任予定であることなど、今後、急激に保護司数の減少が進む危機状況にある。

以上を踏まえ、青森県保護司会連合会と青森保護観察所において保護司の適任者確保のための青森県緊急対策本部(以下「県本部」という。)を設置した。

これに伴い、青森地区保護司会では、8月27日青森保護観察所において、天内修青森地区保護司会会長を本部長とする「保護司適任者確保緊急対策チーム」を設置することとした。



適任者確保のための青森県緊急対策本部(令和2年9月3日)

- メンバーは次の通り
- 本部長(地区保護司会会長)
 - 副本部長(地区常務理事)
 - 幹事(各分会長)
 - 幹事(各分会総務担当)
 - 事務局長(地区事務局長)
 - 部員(地区事務局)

保護司ひとり一人が 保護司不在の町内から 推薦して頂きたい

【主な意見書】

◆今までの取組

- ①保護司が退任前後に適任者を推薦することが多かった。近年は、保護司候補者検討協議会からの推薦が徐々にあるが、現在も保護司からの推薦が多い。
 - ②教師の退職予定者で、生徒指導などの先生に、保護司の依頼をしたら、積極的に同意を頂いた。
 - ③日常の交流の中でボランティア意識が高い人を見極め、勧誘活動することができたと思うが、退職した現在、交流範囲が狭まり、これまでの対応をとることは難しい。
- ◆これからの取組
- ①様々な団体への継続的な広報依頼。まずは保護司を知っていただ

◆これが肝要。

- ②保護司の集まる機会をふやし、保護司を募集しましょうと常に声かけをする。
 - ③定年延長のため退職者による補充は難しくなっているため、現役の時から保護司活動に従事しやすい環境整備を行う。
- ◆その他
- ①保護司が活動について充分理解していない。やり甲斐を持って取り組めるような検討が必要。
 - ②保護司の集まる機会を増やして、後継者不足を検討する。
 - ③行政OB、民生委員、町内など、地域で活動をしている人に働きかける。

青森保護観察所管内 令和2年7月1日現在

地区名	定数	現員数()は女性	充足率(%)
青森	132	115 (30)	87
弘前	78	76 (23)	97
八戸	124	100 (20)	81
南黒河	29	29 (7)	100
五所川原	25	22 (5)	88
つがる	61	58 (18)	95
鱒ヶ沢	22	22 (7)	100
上十三	20	20 (4)	100
野辺地	52	41 (16)	79
むつ下北	43	36 (6)	84
	44	33 (11)	75

令和2年9月1日付

新任保護司紹介

「保護司の委嘱を受けて」



花田 栄介
第1分会
青森市自由ヶ丘

先日、研修を受けさせて
頂きました青森県議会議員
の花田栄介と申します。
委嘱を受ける際、代表し
て委嘱状を受け取る名誉を
与えて頂きましたことに感
謝申し上げますと共に、今
後、一保護司として、更生
保護ボランティアに可能な
限り邁進して参る所存です。
研修から学ばせていただ
きましたのは、やはり担当
保護司となった際、保護観
察対象者の話を聞く態度の
在り方が大事であるとい
うことです。
親身になつて話をするこ
とで相手方に安心感が醸成
され、その結果、社会復帰
に繋がるわけです。保護
の心持ちを忘れずに、保護
司としてのあるべき姿とい
うものを励行していきたい
と思います。
最後に、保護司の委嘱を
受けたばかりの新人であり
ますので、わからないこと
や、どうすればいいのかわ
らぬ点には、皆さまからア
ドバイス頂きますよう宜し
くお願い致します。



高崎 俊明
第2分会
青森市本町

以前、保護司をしてる友人から
のご縁で保護司のお誘いを頂いてお
りました。その時は様々な事情で叶
わなかったのですが、この度改めて
お誘いを頂き、まだご縁があるのだ
と、保護司の委嘱をお受けしました。
再度のお誘いを受けたのは4月コ
ロナ渦の真只中、飲食業を営んで
いる私にとっては、終息しないコロ
ナと先が見えない社会状況とに鬱々
とした日々を送つておりました。飲
食業は不要不急と、パタリと止ま
つた客足に、自分の商売や仕事、延
びては自身の存在自体もこの社会で
不要なのではと思うようになって
いました。砕けそうになる心と体
を繋ぎ止めてくれたのが、多くの友
人やお客様、またご近所町内会の皆
様からの支援や励まし言葉でし
た。ちよつとした言葉掛けや気遣
いなど、これまでの多くの方とご縁
や出会いに感謝しつつ、自分の生業、
自分の生は不要なものではないと、
頑張らなくてはと日々奮闘しながら
生活しております。
多種多様な価値観が存在し、目ま
ぐるしく変化していく社会で、人よ
り遅れたり道に迷つたなら、私自身
が少し歩みを遅らせ共に歩き、この
世の中に不要なものはないと信じ、
対象者の方と今を考へるお手伝いが
出来るような保護司になれればと思
つております。
これから先輩諸兄の皆様のご指導
頂きながら務めさせて頂きます。
で、どうぞ宜しくお願い致します。



坂本 佳奈子
第5分会
青森市浪岡

初めて保護司の存在を知
つたのは学生の頃、友人か
ら「母が保護司でね」と話
を聞いた時でした。熱意と
責任感、優しさと厳しさの
両方を持ち合わせた方なの
だと感心し尊敬したことを
思い出します。
昨年末、思いがけず保護
司のお誘いを受けた際、果
たして自分に務まるのかと
身に余る重責にしばらくの
間悩みましたが、微力でも
地域や社会のお役に立てる
のならとの思いでお受けす
ることに致しました。
先日、新任保護司研修会
で受けた講義と頂いた多く
の資料を前にして、学ぶべ
きことの多さと職責の重さ
に少し不安もありますが、
先輩方のご指導を受けなが
ら真摯に取り組んでいきたく
と思致します。

保護司推薦 希望町会

保護司ご推薦にあたって、
特に補充したい地域です。

<p>【第1分会】</p> <p>浜館 戸山 駒込 久栗坂〜浅虫</p>	<p>【第2分会】</p> <p>第二間屋町 妙見 横内 青葉</p>	<p>【第3分会】</p> <p>旭町 南・北金沢 野木 入内 金浜</p>	<p>【第4分会】</p> <p>岡町 浪館 西滝 久須志 千刈、里見 千富町 石江 蓬田村</p>	<p>【第5分会】</p> <p>浪岡全地域</p>
--	---	--	--	----------------------------



コロナ禍における分会の社明運動

社会を明るくする運動 青森地区キャラバン隊

コロナ禍で、社会を明るくする運動が計画通りに進まない中、青森地区では初めて社明ステッカーを貼ったマイカーの「キャラバン隊」を結成して10月3日(土) 決行した。更生保護施設プラザあすなろを午前9時に出発し平内町役場前(写真)で、第1分会の保護司と情報交換↓ほたて広場で休憩↓浪岡庁舎前で第5分会の保護司と情報交換



平内町役場で第1分会の保護司と情報交換



マグネットを貼った4台のマイカー

↓浪岡道の駅アップルヒルで休憩↓昼12時30分頃プラザあすなろに到着。
佐藤事務局長は、この体験を生かして来年度に新たな社明運動の展開を進めたい。と語っていた。

1分会

平内町での活発な運動

【山形 民雄】



のぼりを立てた佃中学校

- 佃中学校前及び平内町役場前において社明運動広報用のぼり旗を掲示した。平内町を訪問し、船橋町長に対し、安倍内閣総理大臣及び三村県知事からのメッセージを伝達するとともに、次の3点について協力方依頼し実施した。
- ① 平内町役場前への社明運動に関わるのぼり旗掲示による広報活動
 - ② 平内町全戸に対し回覧板を活用して社明運動に関わるリーフレット配布による広報活動
 - ③ 平内町防災無線を活用して「社明運動メッセージの放送」による広報活動

2分会

来年に期待しながらの

【鬼柳 久美子】



のぼりを立てた筒井中学校

第2分会分区内の中学校での「ミニ集会」は、第2分会の唯一の社明運動です。その「ミニ集会」が、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になったことはとても残念です。それでも、筒井中学校にのぼり旗設置と校内へのポスター掲示のお願いをしたところ、快く了解していただきました。

地区保護司会からNEWデザインの社明のぼり旗を10枚頂き、第2分会でポールを10本購入、7月6日(月)、筒井中学校の正門と校庭南側にのぼり旗10本を設置し、7月31日(金)に撤去。来年は是非、筒井中学校で「ミニ集会」が開催されることを切に願っています。

3分会

生徒から喜びの声を

【白鳥 きよみ】

コロナ禍でステイホームが数ヶ月間。対策の波が広がり、マスク着用で社会情勢も不安定になった。その状況下で社会を明るくする運動



が始まったが、様々な会議・行事が次々と中止となり3分会では、中川分会長を中心に役員会で検討し、のぼり旗の設置を例年通り甲田中学校道路側にみんまで立て、片付けも無事済ませた。甲田中での講演会が中止になったので生徒と教職員の皆さんにクリアファイル380枚を贈呈。生徒たちからは「僕たちクリアファイル使っているよ。更生ペンギンのホゴちゃんサラちゃん可愛いね」と喜びの声をかけてもらいました。大きなポスターも地域の皆さんに貼って頂きました。

4分会

役場などにポスター掲示

【柿崎 慎一】

今年は恒例のイベント等(西部市民センターでの新城まつり、油川市民センターでのかかしロードイベント)が中止となる中、蓬田村役場、外ヶ浜町役場、今別町役場、竜飛ホテル、富田保育園、蓬田保育園に、のぼり旗及びポスターの掲示、かかしロードではのぼり旗の設置を通

して、社会を明るくする運動を行いました。また、安倍内閣総理大臣及び青森県知事からのメッセージについては、感染拡大のリスクを考慮し、三町村とも口頭での伝達式をやめ、文書での手渡しとなりました。



5分会

ポスターとパンフの社明

【阿部 哲】

五分会では、毎年度社明運動強調月間には、①浪岡高校生徒との座禅会②浪岡夜店まつりでの周知活動③浪岡地区安心・安全パレードでの宣伝活動④JR浪岡駅前と浪岡体育館付近での社明幟旗の設置を四本柱として活動をして参りました。今年は何れも自粛で活動が中止となり、残念ながら幟旗の設置と、浪岡交流センター「あびねす」でのポスター掲示とパンフ設置に留まりました。

5分会における令和元年度社会を明るくする運動の紹介

「浪岡北畠まつり」



新設

保護司の特例的再任制度について

令和3年4月1日以降に退任予定の保護司が対象

本制度は、長く保護司に
従事したいという希望があ
る場合、現行の退任日（76
歳を超える再任日）に、特
例的に再任することを可能
とした制度であり、令和3
年4月から施行となる。

青森保護観察所管内にお
いては、令和3年度は、9
月1日（現行の退任日）時
点で76歳を超える保護司が
特例的再任の対象となる。
対象の保護司に対しては現
行の退任日の数か月前に、
保護観察所から意向確認を
させていただく予定。

なお、特例的再任後、78
歳以降の保護司活動につい
ては制限があるので、下の
保護局作成の説明文及び図
を参照。

本制度に関する質問等の
問い合わせは、青森保護観
察所・企画調整課まで。

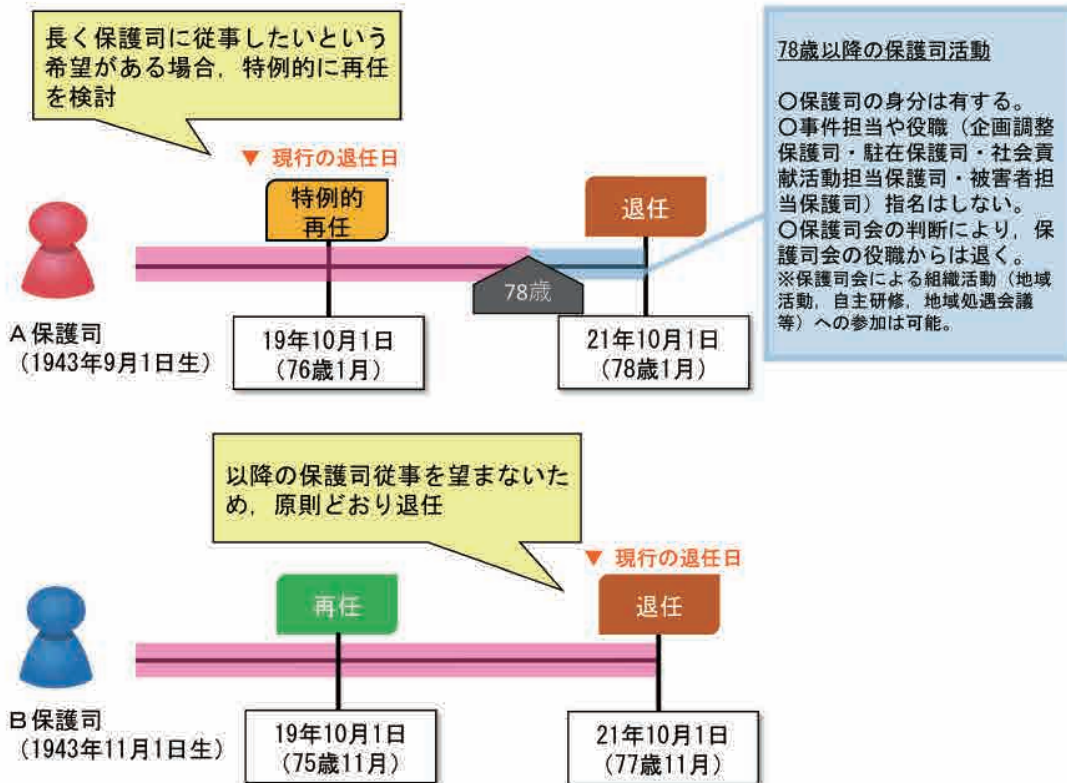
再任の上限年齢に係る特例規定の新設について

【ねらい】

長く保護司を続けたいという意欲が強いにもかかわらず、誕生日と委嘱日との関係で、同年代の他の保護司よりも早く辞めざるを得ない場合があるという現状を解消し、その意欲がある場合には、等しく78歳に達するまで保護司活動を続けることができる仕組み。

【概要】

- 再任の上限年齢は76歳未満を原則とする。
- それ以降も保護司を続けたい場合は、この仕組みによる再任の意向を確認した上で、特例的に、現行の最高従事年齢である77歳11月まで（78歳になる前日まで）、従前どおり従事できる。
- 78歳に達した以降は、保護司の身分は有するが、保護観察所から保護司活動に関する個別の依頼等（事件担当の依頼、企画調整保護司や駐在保護司の指名等）はしない。
- 78歳に達した以降の再任はしない。



【留意点】

- 76歳を超える再任日（現行の退任日）の際に、継続の意向を確認する。
- 特例的再任の際に、78歳以降は個別の活動依頼をしないことを事前告知する（78歳時に特段の告知はしない）。
- 相当の準備・周知期間を確保するため、令和3年4月1日から施行。

青森地区保護司会被表彰者

令和2年度

受彰おめでとうございます

【法務大臣表彰】

〈保護司3名〉

石田 康男

塩原 誓子

中川 隆司

【全国保護司連盟理事長表彰】

〈保護司3名〉

田中 明子

今井 百合子

佐藤 俊政

【東北地方更生保護委員会委員長表彰】

〈保護司3名〉

小林 政英 木村 眞次
田中 崇

【東北地方保護司連盟会長表彰】

〈保護司9名〉

木村 良一 佐藤 光子
後藤 雅之 白鳥 きよみ
三上 誠一 山内 みどり
田中 豊代 工藤 照造
對馬 充

【青森県知事感謝状】

〈保護司2名〉

〈家族功労1名〉 塩原 哲夫

中川 隆司 北山 英之

【青森保護観察所表彰】

〈保護司5名〉

高橋 俊嗣 徳 差誠 悦
藤田 貢 田邊 孝美
銭谷 忠雄

【青森県保護司会連合会会長表彰】

〈保護司7名〉

齋藤 史彦 酢谷 奈保子
今 勝一志 田川 伊吹
山本 治男 佐々木 敦子
津嶋 博
〈家族功労1名〉 樋口 千春

【行事中止または延期】

令和2年11月予定の青森県更生保護大会中止に伴う表彰式は、10月に法務大臣表彰と全国保護司連盟理事長表彰を別途開催の運びでしたが、弘前保健所管内で新型コロナウイルス感染者が急増したことを受け、青森保護観察所では、いずれも中止とした。

中止は次の通り

〈青森保護観察所〉

①10月21日開催

法務大臣表彰及び特別研修「保護司の安定的確保に係る座談会」

②10月28日開催

全国保護司連盟理事長表彰 状伝達式及び特別研修「保護司の安定的確保に係る座談会」

〈青森地区保護司会〉

①10月30日開催

第2回地域別定例研修会

(1・2・3分会合同)

②11月20日開催

令和2年度青森地区保護司会表彰式(12月19日に延期)

青森地区保護司会

青森地区保護司会は、地域社会の一員として、犯罪や非行をした人の立ち直りを支援します



行事

保護司とは



青森地区保護司会について

保護司信条



会長挨拶



組織・役員構成



分会役員



会則



内部規程



広報紙



青森地区保護司会



<http://www.ao-kousei.com/aomori/>

青森地区保護司会の ホームページがスマホで見やすく！



このボウリング大会は、今年で3回目にあたる。保護司4名、あすなろ職員2名が参加し、笑い声も絶えず、和やかに進み、優勝者はあすなろ中村施設長。

あすなろボウリング大会

10月11日、アオモリボウルにて、あすなろボウリング大会が開催された。あすなろ入所者5名、青森地区更生保護サポートセンターの企画調整保護司4名、あすなろ職員2名が参加し、



あすなろ陶芸教室



3年目を迎えたあすなろ陶芸体験教室はコロナ禍の中、感染対策を整え、10月6日と20日開催された。あすなろ入所者6名、あすなろ職員2名、青森地区更生保護サポートセンターの企画調整保護司4名が参加、初めて体験した入所者も見事な陶器が完成し、感激していたようだ。

ひとこと

まさかの「青森県での新型コロナウイルス感染クラスター発生！」

鯨ヶ沢地区保護司会の安田悠宏会長から、おもしろい事を教えていただきました。コロナを組み合わせると



コロナウイルスから「僕を倒すのは君だよ！」とメッセージを送っているのかもしれない。

「鬼滅の刃」ならぬ「疫滅の刃」を振るのは、自分自身の心なのではないでしょうか！とはいえ、まだまだ続く「自宅晩酌」と「空き缶の増量」(我が家は酒好き一家)

広報部 鬼柳 久美子